

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター西尾市立白ばら園				公表日	令和7年3月18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	25	0	・法令を遵守した中で、職員同士が支援内容を確認し合い活動に応じたスペースを配慮しています。 ・クールダウンや活動スペースに静養室の活用をしています。	・一部屋に9人の子ども達それぞれの遊びや活動を工夫したり、適切なスペースを確保したりすることが困難に感じることや、2クラス共有のトイレや玄関などは狭いと感ずることもあるので、今後も安全に十分配慮しながら支援を考えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	25	0	・厚生労働省が定める基準を遵守した職員配置になっています。 ・活動や出席状況に応じて、職員配置を配慮しています。	・子どもの特性や状況により担任だけの対応が難しい場合フォローできる職員がいるとよいと感じたこともありました。厚生労働省が定める基準を遵守した職員配置の中で適切な職員体制について十分検討していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25	0	・身支度や遊びの場などが分かりやすいようにパーテーションを利用し空間を区切ったり、活動内容や子ども達の特性に応じて絵カードやスケジュールカード等を使い視覚的にわかりやすくしたり、必要のない物は片付けたり等場面に合わせた環境を提供しています。	・今後も子ども達一人一人の特性に合わせた場所の確保や場面に合わせたわかりやすい環境を提供し、見通しをもつことで安心して生活が送れるように努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	25	0	・常に空気清浄機を使用し、換気を十分行っています。必要に応じて加湿器を使用し、毎日の清掃の徹底、室内、玩具などの消毒も定期的に行い、清潔で心地よい空間づくりをしています。 ・子ども達の活動に合わせた環境を整え、感染症等の流行にも気を配り、状況に応じた空間をつくっています。	・今後も引き続き毎日の遊具の安全点検、室内外の点検を行い、安全な療育環境づくりに努めます。 ・プレイルーム、園庭等でたくさん身体を動かして遊べる工夫をし、散歩などの園外活動も行っています。 ・職員会議などで感染症等の研修を行い、清潔で安全な生活空間づくりに努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	25	0	・状況に合わせてパーテーションを使い安心できる空間を作っています。 ・子どもの特性や活動に応じて静養室を使用しています。	・まずは子ども達一人一人の特性を理解し、必要に応じて子どもの特性に合わせた空間で安心して過ごせるようにします。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23	2	・支援前の話し合い、支援後の振り返りを関係する職員同士で共有しています。定期的に面談を行い、目標達成度を確認しています。	・各自PDCAサイクルを意識し、全体で十分な共通認識をもてるように努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	25	0	・保護者参加の行事後にアンケートを実施して保護者の意向を把握し、改善につなげ、集計結果を公表しています。	・今後もアンケートを実施し、保護者の意向を把握するとともに、いただいたご意見を前向きに受け止め、園の運営も踏まえ、業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	1	・朝礼や療育後の振り返り、職員会議等で情報共有や、意見収集を行っています。	・今後も職員の意見を把握する機会をもち、その内容を業務改善に繋げられるよう努力していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	25	・県や市の行政監査(法令が定める最低基準を満たしているか否かの確認などを行う)は受けており、改善につなげています。	・福祉サービスのよいものへと改善する第三者の外部評価については来年度予定はありませんが、今後検討の必要があると考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	25	0	・全職員の研修機会を確保したり、公認心理士、作業療法士、言語聴覚士等の講話を職員全員が聴く機会をもち、スキルアップにつなげています。 ・研修後には報告、資料の回覧をして全職員に周知しています。	・専門的な支援や地域連携が強く求められている中、今後も職員の資質向上のため、様々な分野の研修により広く職員が積極的に参加できるように、研修機会を確保していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	2	・ホームページにて支援プログラムの公表をしています。	・今後も分かりやすい支援プログラムの作成に努めていきます。

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	25	0	・アセスメント、モニタリング等から子どもの現在の発達や取り巻く実態を把握してニーズをつかみとり、個別支援計画を作成しています。 ・専門職の助言を受けたり、児童発達支援管理責任者との個別支援会議を行ったりして支援計画の作成を行っています。	今後も子どもの姿について保護者とよく話したり、連絡帳などでもやり取りをして理解を深め、アセスメント、モニタリングを行う中で保護者と子ども達のニーズを汲み取って計画を作成していきます。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	25	0	・児童発達支援管理責任者と担任、専門職等、子どもに関係する職員が検討しています。	・今後も支援計画の作成には、子どもに関わる全職員が共通理解を行う努力をし、必要な支援の検討をしていきます。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24	1	・支援計画は職員間で共有されており、日々の姿は振り返りやカンファレンス等で確認をしています。	・今後も子どもの姿を確認しながら個別支援計画を基に支援を進め、保護者との懇談を通して、評価、見直しと見直し後の計画立案を行っています。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	24	1	・白ばら園では担任が「乳幼児精神発達診断法（津守）」を使用しており、診断方法については職員同士や公認心理士と話し合いながら共通理解をしています。	・今後も担任が「乳幼児精神発達診断法（津守）」を使い子ども達の発達の把握に努めていますが、一部時代にそぐわないとも考えています。子ども達の総合的なスキルを評価し、支援できるようなアセスメントツールがあれば取り入れていきます。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	24	1	・今年度より新制度に対応した様式に変更し、必要な項目を設定しています。 ・ガイドラインに基づき、ご家族や子どもの現状に適した支援内容を担任や専門職などがチームとなって検討し、必要なすべての支援項目を目標に具体的に盛り込み、支援につなげています。	・今後も児童発達支援ガイドラインに基づき、提供すべき支援を適切に設定していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	1	・職員で話し合いながら活動内容を検討し、必要に応じて作業療法士・公認心理士・言語聴覚士と相談しながら一人一人に応じた活動を心がけています。	・職員会、専門職とのカンファレンス等を実施し、子ども達に合った支援を活動に合わせ職員全員で行います。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24	1	・支援の工夫に努め、姿に合わせて検討、見直しをしています。また季節の行事も取り入れながら子どもに合わせたプログラムとなるよう工夫しています。	・子ども達が安心して園生活を送る中で楽しく過ごせるプログラムをさらに工夫していきます。 ・同じ活動でも小さな変化やステップアップを意識していきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	25	0	・子どもの発達段階に応じた、また現在の子どもの状況やクラスに応じた活動の支援を検討し、個別支援計画を作成しています。 ・子どもの姿や時期をみながら他クラスとの交流を積極的に取り入れています。	・子どもの状況を見極め、集団活動や個別活動を意識して、一人一人の発達に応じた個別支援計画を作成していきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	25	0	・毎朝朝礼を行い全体の打ち合わせをしています。 ・朝礼に参加していない職員は朝礼ノートを必ず確認してから療育にあたるようにしています。 ・療育開始前に打ち合わせを行い、支援内容や役割分担の把握に努め、状況により、臨機応変に役割を交代しながら行えるようにしています。	・打ち合わせや連絡が不十分にならないように、共通した様式を使い、確認できるようにしています。他業務がある等の場合は事前の職員間の連携に努めていきます。 ・フォローが必要な場合は朝礼時に確認し合い、安全な療育に努めています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25	0	・毎日の療育終了後にはクラスの担任間で振り返りを行っています。また、必要に応じて全体への報告も行います。 ・打ち合わせや振り返り時に不在の職員とも情報を確実に共有しています。	・引き続き、支援の振り返りを行うことで、情報を共有していきます。支援の検証、改善を行うために有効な方法を検討していきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25	0	・毎日の活動記録は、個別支援計画に沿って支援が適切にされているかを意識してとっています。 ・ヒヤリハットの記録を必ずとり、速やかに報告しています。	・今後も個別支援計画に沿って支援の状況等を記録し、支援の向上につなげていきます。 ・ヒヤリハットを支援の改善につなげ、安全な療育に努めます。

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	24	1	・個別支援計画作成にあたり、定期的にモニタリングを行い（年2回）、保護者と確認しながら見直しをし、次の支援目標を定めています。	・引き続き、モニタリングを実施し、必要に応じて支援の見直しや確認をしていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	1	・相談支援専門員からの要請に応じ、サービス担当者会議が開催されるときには必要な担当職員が参加します。	・引き続き、ケースに応じて必要な職員が参加していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	24	1	・関係機関（保育課、各療育機関、保健センター、小学校、特別支援学校、事業所等）と連携した支援を行っています。 ・入園前の母子通園や療育の様子を担当者が聞き取る等して引き継ぎを行い、連携を図っています。	・今後も関係機関との情報共有に努めていきます。 ・個人情報の情報共有については必ず保護者の意向を確認して行うようにします。 ・センターとして、地域の発達支援が必要なケースに関する情報交換等に努めていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25	0	・移行時には療育報告書の他に必要に応じて個別に情報提供を行うとともに、移行児事後フォローにて保育園等を訪問し情報共有と相互理解を図っています。	・今後も子どもの姿に合わせた移行支援ができるよう情報を共有して相互理解に努めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	1	・就学時と移行の際は各所に療育報告書をお渡ししています。 ・移行時には情報提供を行うとともに、卒園児事後フォローで各小学校を訪問し、相互理解に努めています。 ・就学までに就学先での授業の体験を行ったり、学校職員に来園してもらい、様子を見てもらったり等して情報交換と相互理解を図っています。	・引き続き、小学校や特別支援学校と連携を取り合い、的確に子どもの姿を伝え、情報共有・相互理解を図っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	23	2	・6市療育者会では、主任会、実習を通して情報交換を行い連携を図っており、職員のスキルアップを目指しています。	・地域全体の資質向上を見据えた研修機会や情報交換会の企画運営等がセンター機能として期待されており、それらの体制整備を行政ともに行っていきます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	23	2	・ケース検討では他機関の心理士やPTより助言を受けています。 ・外部研修に参加し、職員全体で研修内容を共有するよう努めています。	・今後も積極的に専門家や専門機関等からの助言を受ける機会をもち、スキルアップにつなげていきます。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	23	2	・園長、児童発達支援管理責任者、相談支援専門員が参加しています。	・定期的に開催される会議へ参加し、最新の情報を得たり、地域の動向を把握していきます。協議会の内容を職員会議で周知し、センターの職員として把握できるようにしていきます。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	24	1	・隣接する室場保育園と毎月交流会議を設け交流の計画を立てています。 ・誕生会や行事の交流等子どもに合わせた交流の機会を昨年度よりも多くもつことができています。	・子どもの状況をみながら、保育園での交流の機会を十分にもてるようにします。 ・今後も保育園児が療育室等に遊びに来る機会をもち、子ども同士の自然な関わりができるようにします。 ・交流時の様子をハグノートを活用し、保護者に随時伝えていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	25	0	・連絡帳、送迎時、懇談会等でお伝えしています。また必要に応じて電話で対応しています。	・引き続き、子ども達の様子や情報を丁寧に伝え、ご家族の方々と共通理解を深められるよう努めていきます。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25	0	・保護者参観、親子通園、専門職講話、ふれあいペアレントプログラム、サポートブックの勉強会等を年間計画に基づき実施し、保護者支援を行っています。保護者からの相談にはその都度対応し、家族支援を行っています。	・引き続き、家族支援の充実を図っていきます。家族が相談しやすい関係性や雰囲気づくりに努め、母親、父親、きょうだい等家族全体を支援していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	25	0	・入園前の入園説明会及び契約、重要事項説明の機会に丁寧な説明を心掛けています。	・契約時に重要事項説明と共に丁寧な説明を心掛けます。保護者からの問い合わせにはその都度丁寧な説明ができるように引き続き努めていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25	0	・日々の連絡帳や個別懇談会等で保護者の相談に応じています。白ばら園全職員が個別支援計画の作成に関わっています。	・引き続き子どもや家族の意向を確認する機会を設け、個別支援計画を作成していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	25	0	・個別支援計画の支援等の内容を保護者に説明し、同意を得ています。 ・個別支援計画に沿った支援方法や子どもの姿の確認を親子通園日に行えるようにしています。	・保護者に児童発達支援の提供すべき支援のねらい、及び支援内容について具体的にわかりやすく説明していくことに努めていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	24	1	・保護者からの相談には丁寧に対応し、思いを汲み取りながら必要な助言と支援を行うようにしています。 ・担任との懇談を中心に、必要に応じて園長・主査も懇談に加わり、必要な助言を行っています。 ・親子通園、懇談会、育児相談等の機会に子育ての悩み事の相談に応じています。	・ご家族の気持ちに寄り添いながら様々な相談に乗れるよう努め、必要な助言や支援ができるように迅速かつ適切に対応していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	23	2	・保護者同士の連携について保護者の意向を尊重しながら保護者支援を進めています。 ・OB会、保護者会などの参加を支援し、在園児保護者と卒園・移行の保護者の情報交換の場をつくるよう工夫しています。	・今後も保護者同士の連携を支援していきます。 ・きょうだい同士で交流する機会を設ける等きょうだいへの支援について検討をしていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24	1	・保護者からの相談や申し入れがあった場合、随時対応しています。相談や申し入れの対応(苦情受付窓口等)の整備がしてあることを、重要事項説明会にてお伝えしてあります。	・今後も丁寧かつ適切な対応ができるように努力します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	24	1	・毎月の予定を発行したり、行事の際は日程等の詳細を園から確実に保護者にお伝えできるように努めています。	・行事の案内等、保護者への情報はわかりやすく、早めにお伝えできるよう努めていきます。 ・ハグノートにて白ばら園での生活や活動の様子を紹介していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25	0	・個人情報は鍵のある棚に保管してあります。 ・個人情報使用同意書、写真承諾書により関係機関への情報提供、写真の掲載について保護者に確認をとっています。 ・個人情報をメモしたものはシュレッダーや機密文書で処分しています。	・引き続き、個人情報の取り扱いに十分に注意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25	0	・保護者からの意見は担任から園長、主査へ必ず伝達しています。 ・子どもの姿に合わせた情報伝達の方法を工夫しています。	・子どもの意思や気持ちが汲み取れるように視覚支援等の方法を使って意思の疎通や情報伝達の工夫を引き続き行っていきます。 ・日頃から園での子どもの情報を丁寧にお伝えできるように努力します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	21	4	・地域住民を招待する行事は計画していませんが、看護学生、実習生の受け入れを計画に基づき実施しています。ボランティアも受け入れていきます。	・地域の様々な会議に出席したり室場ふれあいセンターフェスティバルに参加したり等、地域に開かれた児童発達支援センターとなるために必要な努力をしていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	2	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが策定してあります。 ・マニュアルは常時確認できるようにファイルに保管してあります。	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を周知する工夫を検討していきます。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画（火災・地震・バス火災・不審者等）を作成し、毎月避難訓練を実施しています。 ・訓練後は反省を記録し、職員会議で振り返りを行っています。 ・業務継続計画（BCP）が策定されており、想定した訓練を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も非常災害の発生に備え、様々な想定をした避難訓練を毎月実施し、バス乗車中の災害発生に備えた訓練や救出その他必要な訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に子どもの成育歴を丁寧に確認しています。また必要に応じてその都度詳しく聞き取りをしています。健康の記録、服薬については看護師を中心に職員全員で対応方法と共に周知徹底しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に子どもの状況を確認するとともに、発作などの対応を保護者、看護師を含めた職員間で共通理解していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課作成のアレルギー調査の様式を使用して、医師に記入をお願いし、保護者にも聞き取りを行い、必要な書類は保管し、常に確認できるようにしてあります。 ・医師の指示書に基づき、除去食、代替え食品を提供しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きマニュアルに基づき、職員間で共有し対応していきます。 ・今後も毎月、献立と成分表等でアレルギーのチェックを行い、食事提供前に調理員、園長、主査、担任保育士等複数人で確認することを徹底していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の遊具や器具の安全点検を行っています。 ・散歩時の不審者避難訓練も実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理が十分された中で支援が行えるよう、職員全員で必要な訓練や研修をしていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書等で周知しています。引き取り訓練を毎年1回行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して預けられるよう、子どもの安全確保に関する取り組み内容（避難訓練等）を保護者へ周知できるよう努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事例があった場合は、朝礼や会議などで報告・周知を行っています。また、記録を綴ったファイルはいつでも確認できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの共有・周知と共に原因解明や解決策を職員間で検討し、事故防止に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待に関する研修を年間の園内研修の計画の中に盛り込み、実施しています。虐待の芽チェックリストをもとに毎月自己チェックすることで自分の行動を振り返っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も園外の研修に積極的に参加してきます。園内の研修は年間計画を立て、虐待防止について職員全員で学んでいきます。 ・障害児等の人権擁護・虐待防止のための法令を遵守し、対応策を講じていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束指針を作成し適切に対応しています。 ・子どもの姿に合わせて、対応については保護者と話し合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員で身体拘束についての認識を共有していきます。 ・子どもの安全を確保するためにやむを得ない場合は、個別支援計画に詳細に記載していきます。 	